

米中対立の行方と 日中関係のあり方



米中関税交渉は合意できず、最終決定は先送りされている。
米中対立は新冷戦になる可能性が高まっている。
そうしたなかで、日中関係も不安定化している。
今年は終戦80周年記念の年であるが、
北京で大規模な軍事パレードが開かれた。
それを機に、中国で反日ムードが高まる可能性がある。
日本企業にとって中国は依然大きなマーケットであると
同時に、中国ビジネスのリスクも高まっている。
今回の講演で米中対立の行方を模索し
これからの日中関係のあり方について
示唆することにする。

講演者

か りゅう
柯 隆氏

公益財団法人東京財団政策研究所主席研究員

1963年、中華人民共和国・江蘇省南京市生まれ。1988年来日、愛知大学法経学部入学。1992年、同大卒業。
1994年、名古屋大学大学院修士課程修了（経済学修士号取得）。長銀総合研究所国際調査部研究員、富士通総研
経済研究所主任研究員などを経て、2018年より東京財団政策研究所に移籍。現在、同研究所主任研究員。著書に
『「ネオ・チャイナリスク」研究－ヘゲモニーなき世界の支配構造』、『中国不動産バブル』ほか、多数。

2025

11.12 水

15:00 ▶ 17:00 (開場14:30)

愛知大学 名古屋キャンパス
グローバルコンベンションホール
名古屋市中村区平池町4-60-6



**参加
無料**

定員

500名 (申込先着順)

申込

愛知大学公式ウェブサイト「中国公開講座
参加申込フォーム」からお申し込みください。
<https://www.aichi-u.ac.jp/chk>

申込締切

2025.11.5 水



中部経済同友会



愛知大学
AICHI UNIVERSITY

主催：中部経済同友会・愛知大学

後援：中日新聞社／一般社団法人 東海日中貿易センター／
特定非営利活動法人愛知県日本中国友好協会／
愛知大学教育研究支援財団